

会派黎明 岩松 近俊 議員

1 財政運営について

- (1) 社会情勢が大きく変化する中、円滑かつ効率的な市政運営に向け、持続可能で強固な財政構造の構築を目指す必要がある。そこで、将来にわたり健全財政を堅持していくため令和5年度決算概要の状況と行財政将来ビジョンの推進について示されたい。

また、「第3次鹿屋市総合計画」の策定に向けた健全財政に対する基本的考え方を示されたい。

2 市長の要望活動について

- (1) 市政発展、課題解決のためにも、市長の要望活動は大切であるが、市長就任後の国への主な要望活動の内容はどうであったか。
- (2) 鹿児島県への主な要望活動の内容はどうであったか。
- (3) 要望活動のそれぞれの成果はどうであったか。

3 海上自衛隊鹿屋航空基地と鹿屋市との関わり方について

- (1) 現在、本市と海上自衛隊鹿屋航空基地の連携に関してどのような取組が行われているのか。
- (2) 鹿屋航空基地史料館や平和教育などの観光振興やまちづくり計画を推進するためにも、海上自衛隊鹿屋航空基地との強固な協力体制を築き効果的な連携を図っていくべきと思うが、考えを示されたい。
- (3) 自衛隊施設の強靱化に向けて、海上自衛隊鹿屋航空基地の大規模改修工事を地元業者が工事に優先的に参入できるよう協議検討するとの見解が本年3月議会において示されたが、その後の取組状況を示されたい。

4 地震災害対策について

- (1) 安全安心が市政の一番重要な基本政策の中で、今回の地震の発生により、早急な計画策定やスピード感をもった政策の推進が重要と考える。地震対策は広範囲に及ぶことから、新たな政策の推進は市民の生命を守らなければならないことから、早急な検討・議論が必要であると思うがどのような対策を考えているか。
- (2) 今回の地震発生を踏まえ、市民への周知、介助がなければ避難できない市民が利用する施設や医療機関・老人ホーム・保育園・学校などへの対応はどのようなになされていたか。
また、今後どのように対応していくのか。
- (3) 個人住宅等への耐震化に補助金制度が実施されているが、現状と課題を示されたい。
- (4) 耐震に必要な公共物や個人住宅耐震化への重要性のアドバイス及び窓口相談等どのように推進するのか。

5 地域経済政策について

- (1) 強靱な地域経済社会に向け、持続可能な地域経済の活性化を図るべく、地域力の創造を生かした地元産業の育成と支援、新規産業の誘致活動、都市と地方を結ぶDX促進強化について示されたい。
- (2) 平成 19 年、中心市街地の活性化を目指すため「リナシティかのや」が開業するとともにマックスバリュリナシティかのや店が開店した。今般、既存設備の老朽化も一因として本年 10 月に移転することとなったが、閉店に伴うこれまでの経緯と本市の対応について示されたい。
また、閉店後の空き店舗の活用策について本市の考えを示されたい。
- (3) 農業者の減少と耕作放棄地の拡大が喫緊の課題である中、農地を次世代に引き継ぐため、農業経営基盤強化促進法が施行され、人・農地プランから地域農業の将来プランを話し合う地域計画へ移行している。なかでも農業委員会の位置付けは地域計画の策定と実施において重要な役割を果たすことから、市当局や農業者との連携、農地利用の最適化推進など今後の在り方についてどのように考えているか示されたい。

6 教育行政について

- (1) 部活動の地域クラブ活動移行に向けた取組や、部活動指導者の配置支援の現状及び課題、また、今後どのように推進するのか示されたい。
- (2) 文化資源の持続可能な保存・継承・活用を図るためにも、継承危機にひんする文化財整備や伝統行事・伝統民俗芸能の伝承者育成等への取組や支援策及び今後の展開を示されたい。